

保存用

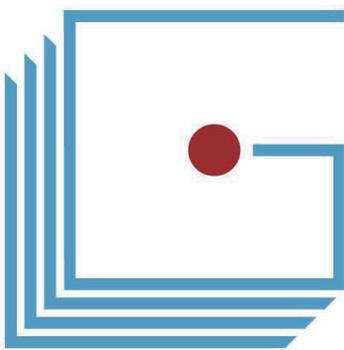
2017.4.1～2018.3.31

# 平成29年度

## 基礎級技能検定事務要領

### 基礎 2 級技能検定

随時 3 級技能検定（一部分）



技能検定制度・技能士ロゴマーク

愛知県職業能力開発協会 技能検定課

〒451-0035

愛知県名古屋市西区浅間二丁目 3 番 14 号

電話 052(524)2039 ・ FAX 052(325)5788

ホームページアドレス <http://www.avada.or.jp>

29年4月作成



# 目 次

はじめに	
1	実施職種（作業）一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2	試験実施の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3	試験実施の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
4	秘密の保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
5	技能検定委員の推薦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
6	試験に必要な会場設備、機器、支給材料、採点器具等の調達・・・・・・ 7
7	受検申請書類一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
8	受検手数料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
9	記載例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
	1. 受検申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
	2. 実施計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
	3. 履歴書（技能検定委員用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
	（新規の方は必ず提出してください）
	4. 試験会場案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
10	提出前にご確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
11	実技試験の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
12	学科試験の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
13	合格発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
14	試験実施に関する経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
15	Q&A・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
16	基礎2級技能検定 試験問題集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
※作業別のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21	
1	金属プレス作業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
	1. 各事業所が会場（金型が準備できない場合）・・・・・・・・・・・・ 24
	2. 愛知県立名古屋高等技術専門校で実施・・・・・・・・・・・・・・ 26
	（会場が準備できない場合）
2	機械検査作業、射出成形作業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
3	支給材料等の斡旋先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
随時3級技能検定の受検について（一部分）・・・・・・・・・・・・・・ 36	

基礎級技能検定試験についての、受検申請・試験実施に関する準備等は、監理団体（事業所）が行ってください。

## はじめに

技能実習生の技能検定試験受検申請における基本的注意事項について  
監理団体（事業所）が検定試験の受検申請する際には、本事務要領に基づき、特に  
下記事項にご注意の上、申請してください。

- ① 試験実施日の予約は先着順としておりますので、速やかに手続きをすること。
- ② 特定の作業を除き、試験用設備・材料は、試験実施側で調達すること。
- ③ 特定の作業を除き、技能検定委員は監理団体（事業所）から推薦すること。

本事務要領では、基礎2級を中心に記載していますが、随時3級受検についても、基礎2級の項目の部分を準用していただくことになります。なお、今後、制度施行に伴い変更となることもありますので、ご承知おきください。

# 1 実施職種（作業）一覧

職種名	作業名	職種名	作業名
さく井	パーカッション式さく井工事作業	建具製作	木製建具手加工作業
	ロータリー式さく井工事作業	紙器・段ボール箱製造	印刷箱打抜き作業
鋳造	鋳鉄鋳物鋳造作業		印刷箱製箱作業
	非鉄金属鋳物鋳造作業		貼箱製造作業
鍛造	ハンマ型鍛造作業		段ボール箱製造作業
	プレス型鍛造作業	オフセット印刷作業	
機械加工	普通旋盤作業	製本	製本作業
	数値制御旋盤作業 ※1	プラスチック成形	圧縮成形作業
	フライス盤作業		射出成形作業 ※3
	マシニングセンタ作業 ※1		インフレーション成形作業
金属プレス加工	ブロー成形作業		
鉄工	金属プレス作業 ※2	強化プラスチック成形	手積み積層成形作業
建築板金	内外装板金作業 ※1	石材施工	石材加工作業
	ダクト板金作業		石張り作業
工場板金	機械板金作業	パン製造	パン製造作業
めっき	電気めっき作業	ハム・ソーセージ・ベーコン製造	ハム・ソーセージ・ベーコン製造作業
	溶融亜鉛めっき作業	水産練り製品製造	かまぼこ製品製造作業
アルミニウム陽極酸化処理	陽極酸化処理作業	建築大工	大工工事作業
仕上げ	治工具仕上げ作業	かわらぶき	かわらぶき作業
	金型仕上げ作業	とび	とび作業
	機械組立仕上げ作業	左官	左官作業
機械検査	機械検査作業 ※3	タイル張り	タイル張り作業
ダイカスト	ホットチャンバダイカスト作業	配管	建築配管作業
	コールドチャンバダイカスト作業		プラント配管作業
電子機器組立て	電子機器組立て作業	型枠施工	型枠工事作業
電気機器組立て	回転電機組立て作業	鉄筋施工	鉄筋組立て作業
	変圧器組立て作業	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業
	配電盤・制御盤組立て作業	防水施工	シーリング防水工事作業
	開閉制御器具組立て作業	内装仕上げ施工	プラスチック系床仕上げ工事作業
回転電機巻線製作作業	カーペット系床仕上げ工事作業		
プリント配線板製造	プリント配線板設計作業		鋼製下地工事作業
	プリント配線板製造作業		ボード仕上げ工事作業
冷凍空気調和機器施工	冷凍空気調和機器施工作業		カーテン工事作業
染色	糸浸染作業	熱絶縁施工	保温保冷工事作業
	織物・ニット浸染作業	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業
ニット製品製造	丸編みニット製造作業	ウェルポイント施工	ウェルポイント工事作業
	靴下製造作業	表装	壁装作業
婦人子供服製造	婦人子供既製服縫製作業	塗装	建築塗装作業
紳士服製造	紳士既製服製造作業		金属塗装作業
寝具製作	寝具製作作業		鋼橋塗装作業
帆布製品製造	帆布製品製造作業		噴霧塗装作業
布はく縫製	ワイシャツ製造作業	工業包装	工業包装作業
家具製作	家具手加工作業		

(52職種85作業)

※1 平成29年度において、国、県は実施公示されていますが、「技能実習制度推進事業等運営方針」別表技能実習2号移行対象職種に追加されるまで実施できませんのでご了解ください。

※2 金属プレス作業につきましては P22 をご参照ください

※3 機械検査作業、射出成形作業につきましては P29 をご参照ください

## 2 試験実施の概要

P4「3 試験実施の流れ」と併せてご覧ください

### A 試験実施日の電話予約(先着順)

- ① 監理団体(事業所)へは、JITCOから当協会へ提供された情報に基づき、当協会から、受検申請に必要な関係書類(申請書、計画書等)をお送りします。
- ② 上記①が届きましたら、速やかに当協会へ**試験実施日の電話予約**をしてください。  
※大変混雑していますので、できる限り早く、次の事前準備した上で予約をされることをお勧めします。(試験予定日は、2～3日を候補日としてください。)
  - ・ 技能実習移行届の情報が確認できない場合は、予約はできません。
  - ・ 試験実施日の目安は、技能実習1号実習期間終了の3か月前から2か月前の間ですが、予約状況によっては技能実習1号実習期間終了の直前になることもありますのでご了承ください。
  - ・ 試験開始時間は、原則として午前9時30分で計画してください。

電話予約時に必要な事前準備

★ 技能検定委員(候補者)の人選

★ 試験に必要な設備、機器等が確保できる会場の手配

※要件などの詳細は7～8ページをご覧ください

(上記「電話予約時の内容」が協会と協議なく変更された場合には、試験日予約を取消す場合があります。)

### B 申請書類(受検申請書、計画書等)の提出

- ① 監理団体(事業所)は、JITCOから受検連絡文書等が届きましたら、当協会への申請関係書類を作成して提出準備をしてください。
- ② 受検手数料を振込み、準備した申請書類(P8参照)を当協会に提出してください。  
**試験実施日の1か月前までに申請書類が完全に揃う必要があります。**  
**不備等への対応のため、余裕を持って提出してください。**
  - ・ **試験実施日の1か月前までに申請書類の不備に監理団体(事業所)が対応されない場合は、試験日予約を取消す場合があります。**
  - ・ JITCOからの受検連絡文書の到着が遅い場合は、後日FAXで送ってください。

### C 検定試験の実施(準備を含む)

申請書類受付後、申請書類の実施計画書で指定の送付先に、次の資料を送付します。

- ・ 試験会場責任者用資料(実技試験実施要領・試験問題等)
- ・ 技能検定委員用資料(実技試験実施要領・試験問題、技能検定委員手当請求書等)

監理団体(事業所)は資料到着後1～2日以内に試験会場の責任者、技能検定委員にお渡しください。特に担当技能検定委員には資料を熟読のうえ、試験に出席するよう依頼してください。また、試験実施前日までに実技試験実施要領に基づき適切に設備等が会場に準備されているか必ず確認してください。なお、設備等の準備に不備がありますと試験を実施いたしません。

- ① 技能検定試験の当日は、先に実技試験を行い、その後に学科試験を実施します。
  - ・ 当日、当協会の職員が試験会場に向きます。**採点基準（検定秘）及び採点用紙は、当該職員から、直接、技能検定委員へお渡しします。**
- ② 当日、技能検定委員から「基礎2級技能検定実技試験報告書兼技能検定委員手当請求書」等を提出していただきます。後日、当協会から技能検定委員手当をお支払いします。

## D 検定試験終了後

- ① 後日、実技試験協力金請求書を監理団体(事業所)あてに、お送りしますので、必要事項を記入の上押印し当協会へご返送ください。  
当協会から実技試験協力金をお支払いします。  
※実技試験協力金とは、試験実施に関する経費について、当協会の規定額を試験実施後にお支払いするものです。
- ② 監理団体(事業所)あてに、当協会から合格証書をお送りすることで合格発表とし、不合格の場合は、電話等で連絡をいたします。

## E 再試験

学科試験、実技試験の一方、又は、両方の不合格者は、1回に限り再受検することができます。

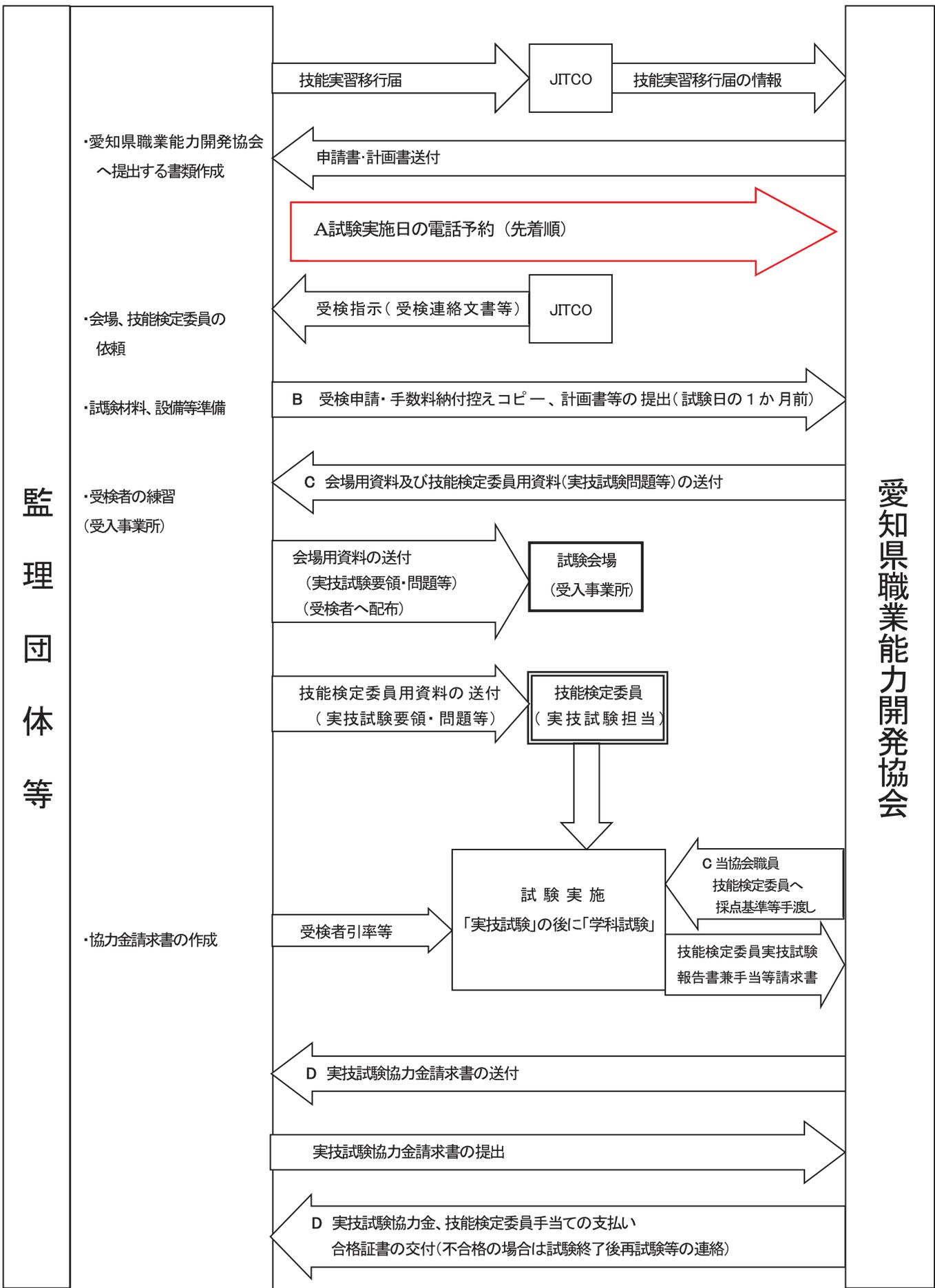
なお、不合格の場合は、日程調整のため、原則として試験終了後2～3日までに監理団体(事業所)あてにご連絡します。

下記①～④に留意のうえ、当協会が指定する日までに、申請書類の提出をお願いします。なお、申請書類が提出されない場合は、受検できません。

- ① 試験の免除
  - ・ 初回の試験で学科試験又は実技試験に合格された方は、合格した試験が免除されます。
- ② 提出書類(初回の試験に準じます)
  - ・ 受検申請書
  - ・ 実施計画書
  - ・ 受検手数料の振り込みが確認できる書類(振込用紙のコピー等)
  - ・ 履歴書(再試験で新規技能検定委員を推薦する場合)
  - ・ 会場案内図
- ③ 原則として学科試験は当協会(愛知県職業訓練会館)で実施します。
- ④ その他

再試験が不合格の場合は、技能実習1号から2号への移行はできませんので、十分な試験対策を行い、受検に臨まれるようお願いいたします。

### 3 試験実施の流れ



## 重要事項

### 4 秘密の保持

故意、過失を問わず、検定秘が外部に漏洩してしまうと、当県のみならず、他都道府県で実施された同作業の技能検定試験の有効性が問われる可能性があり、その影響は多大なものとなります。

技能検定の実施に携わる者及び携わった者は、職務上知ることができた秘密事項について、次のとおり秘密保持義務が課せられますので取扱いには十分にご留意ください。

#### 1. 秘密の保持義務

##### 職業能力開発促進法第100条(罰則)

「第89条第1項の規定に違反した者は、6か月以下の懲役又は30万円以下の罰金に処する。」

##### 職業能力開発促進法(要約)

###### 第89条第1項

都道府県協会の役員若しくは職員(都道府県技能検定委員を含む。)又はこれらの職にあつた者は、第83条第2項の規定により都道府県協会が行う技能検定試験に関する業務に係る職務に関して知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。

###### 第89条第2項

第82条第2項の規定により都道府県協会が行う技能検定試験に関する業務に従事する都道府県協会の役員及び職員は刑法その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

#### 2. 秘密を保持すべき事項

- (1) 実技試験の試験問題及びその正解並びに学科試験の試験問題及び正解。  
ただし、事前に公表したもの及び試験終了後公開したものを除く。
- (2) 実技試験採点基準(実技試験採点用紙及び得点表を含む。)
- (3) 実技試験及び学科試験の答案。
- (4) 実技試験の作品。ただし、採点を終えた後は受検者に返却することとされているものであって、当該採点を終えたものを除く。
- (5) 技能検定試験の合否。ただし、合格発表したものを除く。
- (6) 受検者の氏名。ただし、合格発表に用いたものを除く。
- (7) 受検者の得点。ただし、合格発表後受検者個人の得点をその本人に知らせる場合を除く。
- (8) その他受検者の職歴(学歴、訓練歴を含む。)、所属事業所等、個人情報であつて、当該個人を特定できる可能性があるもの。
- (9) その他厚生労働省職業能力開発局長、都道府県知事、中央協会会長又は都道府県協会会長が秘密事項に定めたもの。

### 3. 秘密文書の取扱い

- (1) 当該文書の複製や内容転記等を行わないこと。
  - (2) 当該文書を第三者に見られる恐れのある場所に放置しないこと。
  - (3) 当該文書の持ち運びには、紛失等の事故が無いように十分注意すること。
  - (4) 当該文書の紛失等の場合は、その旨を速やかに愛知県職業能力開発協会に報告すること。
- 以上に反した場合は、技能検定委員を解任されることがあります。

## 5 技能検定委員の推薦

実技試験会場における設備の点検、受検者に対する指示、採点を行うため、下記選任基準により技能検定委員を推薦してください。

### 1. 技能検定委員

技能検定委員は、「技能検定に関し高い識見を有する者であって、当該検定職種(作業)について専門的な技能、技術または学識経験を有する者」の中から愛知県職業能力開発協会会長が選任し、その身分は愛知県職業能力開発協会非常勤職員とされます。

### 2. 基礎級技能検定委員の選任基準

- (1) 当該検定職種又は当該検定職種に関連する検定職種の**特級、1級又は2級の技能検定**に合格した者
- (2) 当該検定職種又は当該検定職種に関連する検定職種に関し**10年以上の実務経験**又は教育訓練の経験を有する者
- (3) 事業所等において、当該検定職種又は当該検定職種に**関連する職種に関する管理部門、技術部門若しくは教育訓練部門の課長級以上の地位にある者**又はこれらの地位にあった者
- (4) 短期大学(高等専門学校及び旧専門学校を含む。)以上の学校、応用課程若しくは専門課程の高度職業訓練、特定応用課程若しくは、特定専門課程の高度職業訓練、長期課程又は、短期養成課程若しくは長期養成課程の指導員訓練において、当該検定職種又は当該検定職種に関連する職種に関する学科を修めて卒業又は修了した者
- (5) 当該検定職種又は当該検定職種に**関連する職種の職業訓練指導員免許**を有する者
- (6) 国、都道府県、中央協会又は都道府県協会において、技能検定の実施の実務に5年以上従事した者
- (7) 上記(1)から(6)に掲げる者と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する者

### 3. 推薦に当たっての留意事項

- (1) **受検者の所属する企業の者は推薦しないこと**
- (2) **検定委員の次世代人材育成という観点から 70 歳未満の者を登用していくことが望ましいこと**(※70歳以上の者については、原則として推薦の対象としない)
- (3) 技能検定業務に係る秘密保持義務が課されていること
- (4) 原則として1回の実技試験で受検者数が10人未満の場合、技能検定委員は1人でも差し支えないものとするが、10人以上の場合は、複数名とすること。なお、複数名とした場合は、その中の1人を首席技能検定委員とすること

## 4. その他

- (1) 当該年度に行われる当該検定職種の技能検定試験は受検できないこと。  
ただし、特級以外の技能検定委員であって、かつ、中央技能検定委員を兼任していない場合に限り、当該検定職種に係る特級の受検は認めることとする。
- (2) 技能検定委員は、当該検定職種(作業)の技能検定試験に先立って各種団体や事業所が実施する技能検定実技試験、学科試験に係る事前講習会や事前教育の講師とならないばかりか居合わせてもならないこと、及びこれらに係る教育関係資料の作成に一切関与しないこと。
- (3) 実技試験採点基準(検定秘)については、技能検定委員限りとし、試験開始から終了まで、他人の目に内容が触れないように留意すること。また、**実技試験採点基準は、試験終了後必ず当協会職員へ返却すること。**

## 6 試験に必要な会場設備、機器、支給材料、採点器具等の調達

技能検定試験は、原則として実技試験と学科試験を同一会場で同一日に実施することとし、実施する監理団体(事業所)は、下記にご留意のうえ、試験実施の前日までに準備すること。なお、初めて試験を実施される監理団体(事業所)は、試験会場用資料を送付しますので、当協会にご連絡ください。

### 1. 実技試験関係

監理団体(事業所)は、一部の職種(作業)(※)を除き実技試験実施要領及び実技試験問題(申請受付け後、申請書類で指定された送付先に送付)に基づき、準備、調達、設営及び管理を行うこと。なお、下表の職種(作業)については、実技試験受検時に免許、特別教育が必要になりますので、試験当日に携帯していなければ受検できません。(※機械検査作業、射出成形作業(P29 参照))

免許、特別教育等が必要な職種(作業)

No.	職種(作業)名	等級	該当内容	試験当日の対応
1	金属プレス(金属プレス作業)	随時3級	動力プレスの金型取付け等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
2	鉄工(構造物鉄工作業)	随時3級 基礎1級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証等の資格証の確認
			アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
3	工場板金(機械板金作業)	随時3級 基礎1級 基礎2級	動力プレスの金型取付け等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
4	とび(とび作業)	随時3級 基礎1級 基礎2級	足場の組立て、解体又は変更	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名(※)
5	コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)	随時3級 基礎1級	車両系建設機械(コンクリート打設用)の作業の操作	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名

(※)随時3級及び基礎1級について、平成27年7月1日以前に足場組立て解体又は変更の作業に伴う業務に従事し、平成29年6月30日までに受検する者で、特別教育を修了していない者は、証明書等の原本又は写しの提示は要せず、申告も要しない。

⑨「自己申告書への署名」は当該作業の実施要領の「自己申告書」をコピーし、受検者本人に記載内容を確認させ、署名させてください。

## 2. 学科試験関係

- ・会場となる個室、会議室
- ・筆記用具
- ・受検者分の机
- ・時計
- ・椅子
- ・ホワイトボード(黒板)

## 7 受検申請書類一覧

技能検定試験の申し込みには、下記書類が必要になります。

### (1) 基礎2級技能検定受検申請書(記載例 P10 参照)

### (2) 基礎2級技能検定実施計画書(記載例 P11 参照)

- ※ 会場が複数の場合はコピーして使ってください。
- ※ 29年度より様式を部分変更しましたのでご注意ください。  
(1会場1作業につき1枚の作成が必要です。)

### (3) 履歴書(新規技能検定委員のみ提出)(記載例 P12 参照)

- ※ 28年度より様式を変更しましたのでご注意ください。
- ※ 必ず、「技能検定委員の推薦」(P6)をご参照の上、選任基準が確認できるよ  
う記入してください。
- ※ 受検者が10名以上の場合は、原則2名以上必要です。

### (4) 試験会場案内図(記載例 P13 参照)

- ※ 会場は愛知県内であれば、受検者所属事業所以外での実施も可能です。

### (5) 受検手数料の振り込みが確認できる書類(振込用紙のコピー等)

### (6) JITCOからの受検連絡文書

(上記書類が提出に間に合わない場合は、後日受検連絡文書のみFAXしてください。)

- 以上の書類を、記入・印鑑もれのないようにご確認の上、試験実施日の1か月前までにご提出  
ください。(P.4「3 試験実施の流れ」B で提出する書類)

#### ご注意

会場・技能検定  
委員は、受検者  
側(監理団体(事  
業所)でご用意  
ください。

**試験実施日の1か月前までに申請書類を完全に揃えて提出してください**

**なお、不備等への対応のためにも、余裕を持って提出してください。**

・試験実施日の1か月前までに申請書類の不備が修正されない場合は、試験日予約を取消す  
場合があります。

・JITCOからの受検連絡文書の到着が遅い場合は、後日FAXで送ってください。

※ どうしても送付できない事情がある場合は、必ず事前にご連絡ください。

※ **技能検定実施計画書が提出された後、試験日の変更はできません。**

## 8 受検手数料

下記銀行口座にお振り込みの上、振り込み証明書類のコピーを申請関係書類に添付してください。

インターネットバンキング等利用の場合は、振り込みが証明できる画面のコピー等で結構です。

受検料のお支払いの確認がとれるまで申請の受付ができませんので、必ず申請書類に添付してください。

**お支払いいただきました受検手数料は、いかなる理由があっても返還できませんので**ご了解ください。

金額等は下記でご確認の上、お振り込みくださいますようお願いいたします。

ご不明の場合は、事前に電話で当協会担当までご照会ください。

### 記

#### 1. 受検手数料

	学科試験	実技試験	合計
全作業	3,100円	17,900円	21,000円

#### 2. 振込銀行口座

三菱東京UFJ銀行 浄心支店 普通預金 3153298

(あいちけんしょくぎょうのうりよくかいはつきょうかい)

名義：愛知県職業能力開発協会

※ 振り込み手数料は、振込者負担となります。

# 9 記載例 (※記載例の様式は変更になる場合がありますのでご確認ください。)

## 1. 受検申請書

記入にあたっては、表中の赤字部分を記入してください。

記入見本

### 基礎2級学科試験写真票

記入上の注意

- 1 印の欄にはなにも記入しないこと。
- 2 記入にあたってはすべてインキ又はボールペンを用い、数字は黒用数字を用いて、ていねいに書くこと。特に、氏名は、パスポートの氏名と同一の記載となるよう正確に記入し、その写しを指定枠内に貼り付けること。
- 3 検定職種欄には、受検を希望する検定職種名を記入し、作業名の欄には、受検しようとする選択科目に対応する作業名を記入すること。
- 4 学歴欄には記入の必要はない。
- 5 技能習得移行希望者結果の受検指示書(公益財団法人労働修習力機構発行)の写しを必ず添付すること。
- 6 実習歴の欄の実習内容の項には、実習内容をできるだけの体系的に記入すること。
- 7 監理団体名欄には受入団体名を、受入者が事業所の場合は事業所名を記入すること。
- 8 試験の免除の欄には、実技試験又は学科試験の免除を受けた年月日及び番号を記入すること。  
なお、申請の際は関係書類を添付すること。
- 9 写真の裏には本人が受検する氏名を必ず記入の上、貼り付けること。
- 10 記入した事項に不正があった時は、合格を取り消す場合があること。

検定職種	機械加工
作業名	普通旋盤
受検番号	フリガナ(カタカナ)
フリガナ	〇〇〇〇〇
氏名	〇年〇月〇日
生年月日	〇年〇月〇日
監理団体名	監理団体名・電話番号を記入
電話番号	電話( ) - 番

試験を受検する方は、タテ(4cm)×ヨコ(3cm)の写真の裏面に職、作業、氏名を書いて全面にラシをつけて貼ってください。

写真の裏に  
作業・氏名を  
記入

### 基礎2級技能検定学科試験受検票

検定職種	機械加工
作業名	普通旋盤
受検番号	〇〇〇〇〇
監理団体名	監理団体名を記入

### 愛知県職業能力開発協会

〒451-0035 名古屋市南区浅間二丁目3番14号  
愛知県職業訓練会館内 電話(052)524-2039(普通)

受検者氏名のみで結構です

住所

氏名

試験日

開始時刻

試験場

試験受検上の注意

1. 受検の際は必ず本票を持参してください。
2. 作業衣、実技試験開始時参入用第一覧表に記載されているものを持参してください。なお、実技試験問題にはメモ等を記入しないこと。

記載例 (※記載例の様式は変更になる場合がありますのでご確認ください。)

受検申請書

必ず受検者本人が記入

(作成日)  
記入日を記入  
〇年〇月〇日

### 基礎2級技能検定受検申請書

本人署名 氏名 〇〇〇〇〇	
検定職種	機械加工
作業名	普通旋盤
受検番号	フリガナ(カタカナ・ピン音) 〇〇〇〇〇
フリガナ	フリガナ(カタカナ・ピン音) 〇〇〇〇〇
氏名	〇年〇月〇日(〇才)
生年月日	〇年〇月〇日(〇才)
現住所	〒 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 現住所・電話番号を記入
学歴	所在地 〇〇〇〇 最終学歴・所在地、期間を記入(未記入でも可)
実習歴	実習生所属事業所名 〇〇〇〇 受入企業名・所在地、電話番号・実習1号期間 実習内容 〇〇〇〇
監理団体名	監理団体名・担当携帯番号を記入
確認事項	入国年月日 〇年〇月〇日 在留期間(雇用関係終了予定日) 〇年〇月〇日

写真をおよび文字をコピーして貼付してください。顔写真および文字をコピーして貼付け(顔写真のあるページのみ)

貼付けたパスポートと同一になるよう正能に記載

2. 実施計画書

平成29年度基礎2級技能検定実施計画書

記入見本  
No. \_\_\_\_\_

下記の試験の実施にあたり、試験場、試験用設備、機械器具及び試験用材料の調達・準備並びに実施に付随する業務を実施要項に基づき、責任をもって実施協力します。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

愛知県職業能力開発協会長 様

住 所 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇  
 監 理 団 体 名 〇〇〇〇〇〇協同組合  
 申 込 者 (事業所・団体名) 〇〇長 〇〇 〇〇  
 代 表 者 職 氏 名  
 電 話 番 号 ( 〇〇〇 ) - 〇〇 - 〇〇〇〇

印

1. 試験の概要(初めて試験を実施する会場は会場案内図を添付ください)

(ふりがな) 受入事業所	(ふりがな) 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 株式会社	始め 〇〇 社
作 業 名	〇〇〇〇〇〇〇〇作業	受検人数(国籍) 〇名(国籍: 〇〇国) 実技1回的人数・回転数 1回につき( 〇 )名( 〇 )回転実施
試験実施日時	平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日( 〇曜日)	午前 午後 9時30分 時間に合わせ〇で囲むこと。
実施会場名	〇〇〇株式会社	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇〇市 〇〇町 〇〇-1 Tel ( 〇〇〇 ) 〇〇 - 〇〇〇〇
	会場経験	有・無

有無のいずれかを〇で囲むこと。

2. 受検申請者数及び受検手数料

学科試験受検手数料①	実技試験実施手数料②	受検手数料合計①+②	受付日	領収確認日
3,100円 × 〇人	17,900円 × 〇人	〇〇,〇〇〇円		

修正する場合は修正テープ等を使わず代表者印を押印し、修正すること。

3. 事務連絡・郵送先 (試験実施事務に関する連絡・郵送先をご記入ください)

① 上記計画書の 申込者に送付	② 右記に送付	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇〇市 〇〇町 〇〇-1-1 Tel ( 〇〇〇 ) 〇〇 - 〇〇〇〇	課題等送付
	①か②を選択し、 ②の場合は住所等を記入	事業所・団体名	〇〇〇〇〇株式会社	
監理団体担当者	部署 〇〇〇課	氏名 〇 〇 〇 〇		
TEL・FAX	Tel ( 〇〇〇 ) 〇〇 - 〇〇〇〇 担当携帯 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇 - 〇〇〇〇	Fax ( 〇〇〇 ) 〇〇 - 〇〇〇〇		

技能検定委員推薦書

※受入企業に所属の方は検定員になれません

検定委員の資格について添付資料で確認すること。  
無の場合は履歴書を必ず付けること。

下記の者を上記試験の技能検定委員に推薦します。

ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇	委員歴	所属先名	〇〇〇〇〇〇〇株式会社	選任基準 確認
検定委員氏名	〇 〇 〇 〇	有・無	部署名	〇〇〇〇課	
所属先住所 無所属の方は 自宅住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市 〇〇〇町 〇〇〇番地		Tel ( 〇〇〇 ) 〇〇 - 〇〇〇〇 本人携帯 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇 - 〇〇〇〇		
ふりがな		委員歴	所属先名		選任基準 確認
検定委員氏名		有・無	部署名		
所属先住所 無所属の方は 自宅住所	〒		Tel ( ) - 本人携帯 ( ) -		

3. 履歴書 (技能検定委員用) (新規の方は必ず提出してください)

\* は記入不要

記入見本

履歴書

\* 技能検定委員選任基準

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)

推薦団体 事業所名	○ ○ ○ ○ 協同組合 ←監理団体を記入。					
担当職種	職種名	作業名			職種・作業番号	
	機械加工 職種	普通旋盤 作業			*	
	職種	作業			*	
フリガナ	アイ チ	タ ロウ	生年月日		年齢	
氏名	姓 愛 知	名 太 郎	昭和 平成	〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇 歳	
本人 現住所	〒987-6543 名古屋市西区浅間〇丁目〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇					
所属	事業所名/ 部署・職名	〇〇工業株式会社 /		〇〇課 課長		
	所在地	〒987-4321 名古屋市中区二の丸〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇				
最終学歴	(学校名・ 学科名等)	〇〇高等学校 学部 〇〇〇 学科		昭和・平成 〇〇 年 〇〇 月 卒業		
訓練歴	(訓練施設・ 訓練科名)	〇〇〇職業能力開発校 〇〇〇 科		昭和・平成 〇〇 年 〇〇 月 修了		
選任 基準 の 根 拠	(1)	職種に関する技能検定・1級・2級合格、指導員免許取得				
		職種(作業名)	合格年月		合格番号	
	(5)	機械加工(普通旋盤作業)	昭和・平成 〇〇 年 〇〇 月		第 〇 〇 〇 号	
		職種に関する実務経験・学識経験				
	(2)	職種名	期 間		年 数	
(4)	機械加工	平成 〇〇 年 〇〇 月 ~ 平成 〇〇 年 〇〇 月 昭和 〇〇 年 〇〇 月 ~ 昭和 〇〇 年 〇〇 月		〇〇 年		
		平成 〇〇 年 〇〇 月 ~ 平成 〇〇 年 〇〇 月		〇〇 年		
	選任基準の根拠欄の(1)~(5)はすべて記入してください。 支職(管理・技術・教育部門の課長級以上)					
(3)	役職名 ※1	期 間				
	〇〇〇〇課 課長	平成 〇〇 年 〇〇 月 ~ 平成 〇〇 年 〇〇 月 昭和 〇〇 年 〇〇 月 ~ 昭和 〇〇 年 〇〇 月				
私は、職業能力開発促進法を遵守し、愛知県技能検定実技試験の技能検定委員になることを承諾します。						
平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日						
氏名 愛知太郎 印						

※1 役職名は選任基準の判定に必要な可能な限り具体的にご記入ください。役員の方も「〇〇担当役員」等、管理・技術・教育部門の別が判定できるようご記入ください。

※2 「選任基準の根拠」欄は推薦される職種に関する履歴等を該当項目全てについてご記入ください。選任基準については、事務要領6ページをご覧ください。

4. 試験会場案内図（新規の場合は必ず提出してください）

当協会の職員が会場に出向くのに用いますので、丁寧に作成くださるようお願いします。

## 基礎級技能検定試験会場案内図

会場名	〇〇〇〇株式会社	実施計画書に記載の会場・住所 と同じか確認してください
所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地	
		電話(〇〇〇) 〇〇〇- 〇〇〇〇
<div style="border: 2px solid red; width: 80%; margin: auto; padding: 20px;"> <h1 style="color: red; text-align: center;">地図を貼り付けてください</h1> </div>		
交通案内	最寄り駅 鉄道(JR・名鉄・近鉄・地下鉄) <u>    〇 〇    </u> 駅 バス(JR・名鉄・その他 <u>                    </u> ) <u>                    </u> 停	最寄り駅より 徒歩・車 <u>                    〇                    </u> 分

## 10 提出前にご確認

★ 提出前にもう一度、各項目をチェックしてください！

1. 基礎2級技能検定受検申請書(黄色の用紙)	
※印の欄以外に、記入漏れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
本人の署名がありますか？	<input type="checkbox"/>
職種・作業名は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
氏名・フリガナ(中国の場合、ピン音も必要です)は、記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
生年月日・性別・国籍は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
現住所は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
実習歴は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
監理団体名は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
確認事項の入国年月日は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
旅券又は在留カードの写しは、添付欄に貼り付けてありますか？	<input type="checkbox"/>
上記の写しは、文字や顔写真が判別できる状態ですか？	<input type="checkbox"/>
写真票・受検票(右票)に記入漏れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
写真票(右票)に写真が貼ってありますか？	<input type="checkbox"/>
2. 基礎2級技能検定実施計画書	
申込者は第一次受入機関で、代表者職名・氏名及び代表者印はありますか？	<input type="checkbox"/>
作業名は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
受検人数(国籍)は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
実施年月日・時間は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
実施会場名・住所・会場経験は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
受検申請者数及び受検手数料は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
事務連絡先・郵送先は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
技能検定委員推薦書は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
技能検定委員は、過去に当県での技能検定委員経験がある方ですか？	<input type="checkbox"/>
YES → 履歴書は必要ありません。	
NO → 履歴書が必要になります。	
* 印の欄以外は、記入漏れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
選任基準が判断できるように履歴書は記入してありますか？	<input type="checkbox"/>
履歴書は原本で、押印してありますか？	<input type="checkbox"/>
3. 試験会場案内図	
実施計画書に記載の会場、住所と同じですか？	<input type="checkbox"/>
問合せ先電話、交通案内欄の記入漏れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
4. 受検料の振込みが確認できる書類	
振込用紙の写し等は添付しましたか？	<input type="checkbox"/>
※入金の確認がとれないと、申請書の受理が遅れますのでご了承ください。	
5. JITCOからの受検連絡文書	
JITCOから届いていますか？(受検日の1か月前の時点)	<input type="checkbox"/>
YES → 写しを添付してください。	
NO → 後日で結構です。届き次第FAXしてください。	

## 11 実技試験の実施

実技試験の実施にあたっては、「**実技試験実施要領**」及び「**実技試験問題**」に則って適正に試験の実施をお願いします。

なお、**試験用の設備・材料等は、勝手な判断で別のもので代用することは禁止**されています。

### 1. 試験前日までに

監理団体(事業所)は、一部の職種(作業)(※)を除き実施要領及び実技試験問題に基づき、試験用材料の調達及び準備並びに試験用設備、機械、器具などの確保、設営及び管理を行い、試験実施の前日までに準備すること。

担当検定委員には、資料を熟読の上試験に出席するよう依頼すること。

※基礎2級の一部作業の機械検査作業、射出成形作業についてはP29参照してください。

### 2. 作業試験開始前に

技能検定試験の当日は、先に実技試験を行い、終了後に一斉に学科試験を行います。

- ・当日、当協会の職員が試験会場に出向きます。実技試験採点基準及び採点用紙は、当該職員から、技能検定委員へ直接お渡します。
- ・実技試験採点基準(検定秘となっていますので、試験当日、協会職員から技能検定委員に直接手渡します。)については、技能検定委員限りとし、試験開始から終了まで、他人の目に内容が触れないように留意すること。また、**実技試験採点基準は、試験終了後必ず当協会職員へ返却すること。**

- (1) 技能検定委員は受検者の受付を行い、写真票により受検者の確認をすること。
- (2) **技能検定委員は、試験会場を点検して試験の準備が整っているかどうかを確かめ、試験実施上支障がないよう確認すること。**
- (3) 技能検定委員は、**受検者が一見して判断できるよう必ず腕章を着用すること。**
- (4) 技能検定委員は、試験問題を読み上げるなどし、試験実施上の必要な諸注意について受検者に説明すること。その後、受検者から質問等を受け付けること。
- (5) 試験は、すべて日本語で行うものとする。**技能検定委員、当協会職員以外は、試験場入室させてはならないこと。**受検者に対しても、日本語以外での発言は禁止すること。

なお、実技試験においては、**受入れ企業等の者が受検者に手を貸したり、話しかけたり、合図をしたりすることは不正行為となること。**

### 3. 試験中及び終了後

- (1) 採点は、当該職種(作業)の実技試験「採点基準」に基づき、技能検定委員が行うものとする。
- (2) 技能検定委員は、成績を記入した採点用紙を点検し、署名押印の上、採点基準と一緒に当協会職員に提出すること。

## 12 学科試験の実施

1. 学科試験の実施にあたっては、適正に試験の実施ができるよう試験会場の手配をお願いします。  
(必要な設備等) ・会場となる個室、会議室 ・受検者分の机 ・椅子  
・筆記用具 ・ホワイトボード(黒板) ・時計
2. 試験は当協会職員が行います。
3. 試験は、全て日本語で行います。
4. 受検者に対しても、日本語以外での発言は禁止します。
5. 試験中は、試験係員及び受検者以外の者(監理団体の通訳者等含む)の学科試験会場(会議室等)への入室は認めません。
6. 原則として、実技試験終了後に行いますが、スケジュールの都合により学科試験から行う場合があります。

## 13 合格発表

1. 合格証書の交付をもって合格発表とされているため、試験実施日の2～4週間後に合格証書を交付します。
2. 学科試験、実技試験の一方、又は両方の不合格者は、1回に限り再受検することができます。なお、不合格の場合は、日程調整のため、原則として試験終了後2～3日までに監理団体(事業所)あてご連絡いたします。

## 14 試験実施に関する経費

1. 試験実施に関する経費について、当協会の規定額をお支払いします。
2. 試験終了後に、「実技試験協力金請求書」様式を実施計画書の「**監理団体(事業所)**」の送付先に郵送します。  
※ なお、実施期間を区切って合格証書と同時に送付するため、実施日から数週間後に届くこともありますので、ご了承ください。
3. 請求書記載例を参考に、ご記入・押印の上返送してください。  
※ 訂正は認められません(修正液および訂正印も不可です)。お間違えのないように記入してください。  
※ 後日、振込金額確認のため、コピーされることをお勧めします。
4. ご指定の口座へお振込みいたします。ただし、監理団体(事業所)名義の口座とします。  
※振込は、請求日から1か月程度を予定しております。



## 15 Q&A

Q1. 試験準備のための参考書や問題集はありませんか。

A1. 問題集についてはP19をご参照ください。(P19以外は発行されておられませんので、ご了承ください。) なお、過去に実施されました試験問題については、コピーサービスを行っておりますのでP20をご参照ください。

Q2. 会場および技能検定委員は誰が手配するのですか。

A2. 受検者側(受入団体、事業所等)でお探しいたします。  
金属プレス作業については、P21以降をご参照ください。

Q3. 技能検定委員は、退職者でも可能ですか。

A3. はい。退職者であれば、受入企業に勤務されていた方でも結構です。  
但し、退職後嘱託等で勤務されている方は選任出来ません。

Q4. 申請書類はいつまでに提出するのですか。

A4. 試験実施日の1か月前までに提出してください。

Q5. 会場はどこでもよいのですか。

A5. 愛知県内であり、実技試験実施要領等で定める基準を満たしていれば、受入企業以外の場所でも可能です。

Q6. 試験材料等はどこで手に入れればよいのですか。

A6. P30「支給材料等の斡旋先」一覧をご参照ください。  
記載がない場合には、管理団体(事業所)で調達していただきます。

Q7. 金属プレス作業の会場と金型の予約はどうすればよいのですか。

A7. 会場の予約は、P22「金属プレス作業の実施」以降をご参照いただき、会場手配が完了しましたら、当協会へお電話をください。  
金型の予約は、金型の借用願を当協会へご提出ください。

Q8. 学科試験はだれが担当するのですか。

A8. 当協会の担当者です。試験日当日は、実技試験の開始から立ち会います。

Q9. 試験開始時間は変更できますか。

A9. 原則として午前9時30分としています。ただ、受検人数が多い等の特殊理由がある場合には考慮させていただきます。お電話にてご相談ください。

Q10. 試験日を変更することができますか。

A10. 実施計画書関係書類等が提出された後は、基本的に受検者や監理組合等の都合で変更することはできません。

Q11. 試験当日病気等でどうしても出席できない場合、受検手数料は返してもらえますか。

A11. お支払いいただきました、受検手数料は理由の如何を問わず返還することはできません。

## 16 基礎2級 技能検定試験問題集

★実技試験問題と学科試験問題（5パターン）を収録

建 設 関 係
<p>■ 定価 2,160円（税込価格）                  ■ A4判・225ページ                  ■ 発行 2008年9月</p> <p>&lt;収録職種（作業）&gt;                  ●家具製作（家具手加工）                  ●建築大工（大工工事）                  ●とび（とび）                  ●型枠施工（型枠工事）                  ●鉄筋施工（鉄筋組立て）                  ●内装仕上げ施工（カーテン工事）                  ●塗装（金属塗装／噴霧塗装）</p>

参考図書のご注文・問い合わせは当協会技能検定課へ

※在庫状況により、ご注文から発送まで10日程度日数をいただく場合があります。

【TEL】052-524-2039（直通）

【FAX】052-325-5788（下記様式をご利用ください）

### 図書発注伝票

団体・事業所名	
ご担当者	（担当課名） （氏名）
ご住所	〒 —  TEL — —

発注図書名	数量
基礎2級 技能検定試験問題集（建設関係）	冊

※送料及び振込手数料に関しては、お客様負担となります。

（図書と一緒に請求書を同封しますので、図書をご確認後、指定口座へお振込みください）

## 技能検定の試験問題コピーサービスについて（ご案内）

過去に実施されました技能検定の試験問題のコピーを作業、学科、実技の区分ごとに1部500円で提供させていただきます。

つきましては、下記のとおりご案内いたしますので受検対策にご活用ください。

### 記

#### 1 公開対象職種（作業）

中央職業能力開発協会が公開すると定めた職種（作業）

#### 2 申込み・支払い方法

##### (1) 来訪される場合

来訪時に、「職種（作業）」と「部数」をお申し出ください。

手数料は、その際に現金でお支払いください。

##### (2) 郵送を希望される場合

手数料前払いとなりますので、「コピーサービス手数料」、「送付手数料 500 円」を併せて、現金書留（「作業名」と「部数」と実技・学科別を明記したメモを同封のうえ）でお送りください。

「コピーサービス手数料」と「送付手数料」の料金は、ご注文の際にご確認ください。

#### 3 申込み・問合せ先

〒451-0035

名古屋市西区浅間2-3-14

愛知県職業能力開発協会 技能検定課 基礎級担当

TEL 052-524-2039 FAX 052-325-5788

## ※ 作業別のご注意

1	金属プレス作業の実施	22
	金属プレス作業用金型物品貸出要領	23
1.	各事業所が会場（金型が準備できない場合）	24
	借用願（各事業所が会場）★	25
2.	会場が準備できない場合	26
	愛知県立名古屋高等技術専門校の御案内	27
	借用願（愛知県立名古屋高等技術専門校用）★	28
2	機械検査作業・射出成形作業の実施	29
3	支給材料等の斡旋先	30

★の用紙はコピーしてご使用ください。

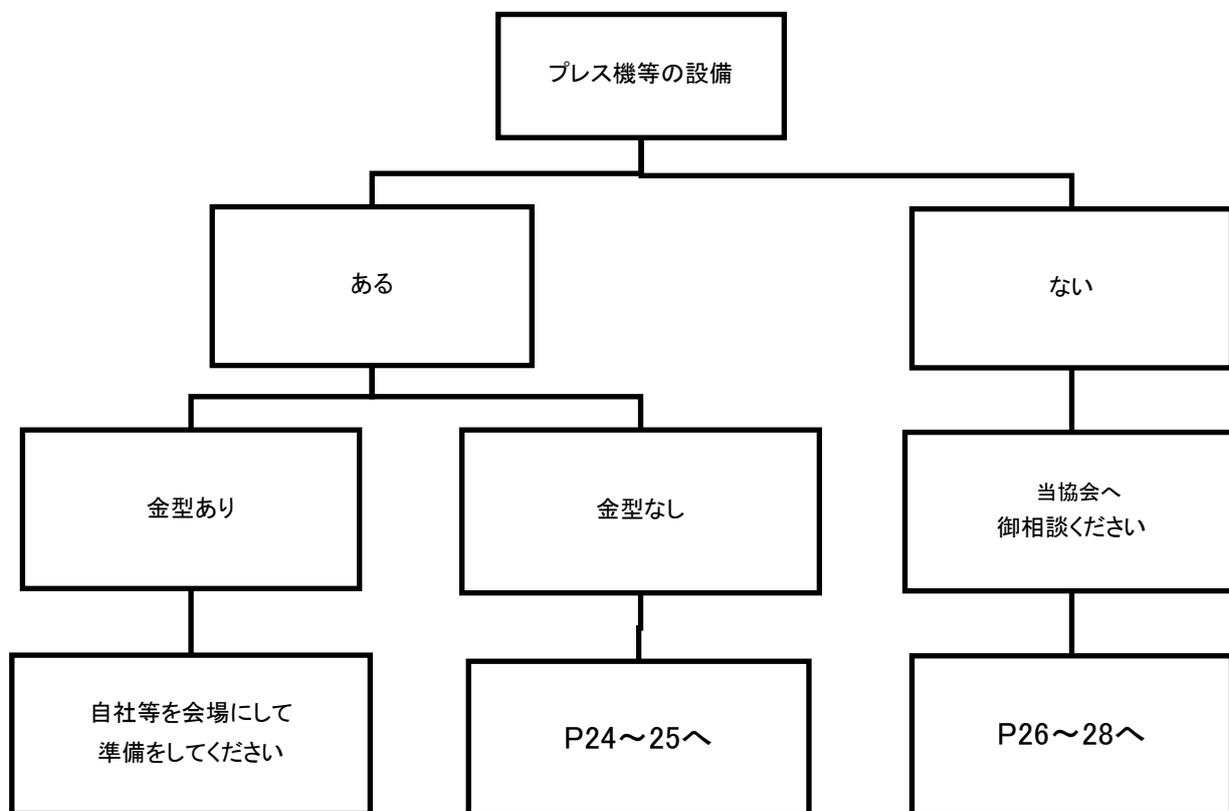
## 1 金属プレス作業の実施

原則として、試験会場は受入機関等で設定し、金型等を準備していただきますが、これによりがたい場合は、次により手配してください。

1. 各事業所が会場（実施要領に基づく設備を備えた会場はあるが、金型が準備できない場合）  
→ 当協会で金型を貸出します。（詳細は P24～P25）
2. 会場が準備できない場合（詳細は P26～P28）

### ご注意

- ・ 「金属プレス作業用金型物品貸出し要領」(P23) を必ずお読みください。
- ・ いずれの場合も、金型は当協会所有の物を使用しますので、会場の申し込みとは別に、当協会へ「借用願」を提出してください。
- ・ なお、借用願は必ず該当の書式を使用してください。



## 金属プレス作業用金型物品貸出し要領

愛知県職業能力開発協会

1. 金型及び部品一式(以下「物品」という。)の貸出しは基礎級金属プレス作業試験実施に関するものとする。
2. 物品は技能検定実技試験の実施以外の目的に使用してはならない。
3. 貸出料は無料とする。但し、物品の運搬については、貸出しを受ける者が行うこと。
4. 物品の貸出しを希望するときは、あらかじめ別記様式により愛知県職業能力開発協会(以下「協会」という。)に申請をし、許可書の交付を受け、この要領に従って使用するものとする。
5. 協会は許可の申請を受けたときは、その利用が適当と認められる場合には許可書を発行するとともに、物品の受け取り場所を指示する。
6. 物品の受け渡しにあたっては、借用者(これから金型を借用しようとする者)は協会の発行した許可書を提示し、物品の瑕疵、付属部品の有無について確認を行うこととする。
7. 借用者は協会に返還するまで適正に物品を保管するものとする。
8. 借用期間中に物品が破損、紛失等した場合は、速やかに許可者である協会に連絡の上、借用者の責により弁償することとする。

## 1. 各事業所が会場（金型が準備できない場合）

通常は、会場となる各事業所等で金型等を準備していただきますが、金型を準備することができない場合には、愛知県職業能力開発協会所有の金型物品を貸出しいたします。

金型を用意することができない場合にご活用ください。

\*\*\*\*\*

- ※ 試験実施日を電話予約する際に、金型物品借用の申込みをいただき、速やかに借用願（P27）を提出してください。
- ※ 貸出し状況によっては、お貸しできない場合もあります。
- ※ 金型物品の受渡時間は、9時から11時30分と13時30分から16時30分までとします。

\*\*\*\*\*

### 愛知県職業能力開発協会所有 金属プレス金型物品一覧

物 品 名 (型 番)		個 数	備 考
バネ	SUP-6	1	
クッションパッド	SS400	2	
ダイホルダ	SS400	1	
パンチホルダ		1	
だんつなぎボルト		2	
クッションピン	SK4	4	
ボルト	SS400	1	

\*\*\*\*\*

愛知県職業能力開発協会 技能検定課 基礎級担当  
〒451-0035  
愛知県名古屋市中区浅間2-3-14  
TEL: (052) 524-2039

検定課長	課長補佐	担当者

コピーしてご利用ください

## 借 用 願

平成 年 月 日

下記のとおり借用を申し込みます。

物品	金属プレス作業用金型一式
使用目的	基礎級技能検定金属プレス加工(金属プレス作業)実技試験の実施
試験実施日	平成 年 月 日 ※試験終了次第、協会までご返却ください。
使用場所 (名称及び所在地)	
使用者 (願出者)	住 所 事業所・団体名 代表者氏名 印
連絡先 ※担当者、電話 番号等	
貸出条件	別添要領のとおり

## 許 可 書

平成 年 月 日

愛知県職業能力開発協会 印

上記借用願のとおり物品の使用を許可します。

### 【物品の引渡日】

### 【物品の引渡場所】

名 称

愛知県職業能力開発協会

所在地

名古屋市西区浅間2丁目3-14

連絡先

Tel 052-524-2039

## 2. 会場が準備できない場合

通常は、会場・技能検定委員等の準備は全て監理団体側で行っていただきますが、金属プレス作業の場合は、当協会が名古屋高等技術専門校を会場としてお借りし、当協会の金型をご利用いただくことができますので、**自社で実施することができない場合は速やかに当協会まで御相談ください。**

なお、この場合は次の手順により予約手続きを行ってください。

### ① 試験日の調整

当協会が計画している試験実施予定日を電話で御確認いただき、2・3日を候補日として、受入企業と試験日の調整を行ってください。試験会場の定員の範囲内で、お申込みいただいた各社の実習生合同で試験を実施します。

- ・学科試験は実技試験と同じ日に名古屋高等技術専門校で実施します。
- ・技能検定委員は、当協会を選任します。
- ・会場・設備・金型の借用料は不要です。
- ・練習日の設定はできません。

### ② 試験日の予約

受入企業との試験日の調整が済みましたら、電話で当協会に試験日の予約を行ってください。

### ③ 金型の予約

当協会の金型を使用しますので、当協会に借用願（P28）を提出してください。

## ご注意

- ・実技試験に必要な器工具等は準備しますが、実技試験問題と受検人数分の支給材料、作業服等（作業帽、安全靴を含む）は御用意ください。

**※ 支給材料については、必ず受検人数分を御持参ください。**

（材質・寸法・形状等は、実技試験実施要領で御確認ください。）

- ・学科試験の際の筆記用具等は、必ず御持参ください。

## ＜愛知県立名古屋高等技術専門校の御案内＞

【所在地】 〒462-0023 愛知県名古屋市北区安井二丁目4-48

【電話番号】 052-917-6711

### 【交通案内】

#### ① 公共交通機関を利用する

地下鉄名城線[黒川]駅から市バスを利用する

地下鉄[黒川]駅4番出口を出て、市バス9番のりば(黒川郵便局前、国道41号線沿い)から

[幹栄1系統(如意住宅行き・水分橋行き)]

[黒川11系統(如意車庫前行き・北部市場行き)]

[黒川12系統(中切町行き)]

のいずれかに乗車し[中切町四丁目]バス停で下車、東へ徒歩約500m

\* 市バス9番のりばからは、どのバスに乗っても[中切町四丁目]に停車します。

#### ② 自動車を利用する

##### ・国道41号線を北進する場合

交差点[中切町]を右折して2つ目の信号を超え、次の小さな交差点(信号無し)を左折左手に名古屋高等技術専門校が見えてきます。

##### ・国道41号線を南進する場合

交差点[中切町4]を左折して3つ目の信号で右折右手に名古屋高等技術専門校が見えてきます。



検定課長	課長補佐	担当者

コピーしてご利用ください

## 借 用 願

平成 年 月 日

下記のとおり借用を申し込みます。

物 品	金属プレス作業用金型物品一式
使 用 目 的	基礎級技能検定金属プレス加工(金属プレス作業)実技試験の実施
使 用 日	平成 年 月 日
使 用 場 所	愛知県立名古屋高等技術専門校
使 用 者 ( 願 出 者 )	住 所  事業所・団体名 印  代表者氏名
貸 出 条 件	借用物品について、借用者の責により棄損、紛失等した場合は、速やかに許可者に連絡の上、弁償すること。

## 許 可 書

平成 年 月 日

愛知県職業能力開発協会 印

上記借用願いのとおり物品の使用を許可します。

## 2 機械検査作業、射出成形作業の実施

- ・ 基礎2級の射出成形作業、機械検査作業の2作業につきましては、原則として当会館で実施します。
  - ・ 試験実施の予約は事前情報の状況に基づき、当協会にて日程調整の後、電話にてご案内いたします。
- 

### 1 試験開始時間・日程

時間：原則として午前9時30分から

日程：調整の後、ご案内いたします。

### 2 会 場

愛知県職業訓練会館

〒451-0035

名古屋市西区浅間二丁目3番14号

052-524-2039

### 3 技能検定委員

- ・ 当協会所属技能検定委員により実施します。

### 4 使用工具等

#### (1) 受検者が用意するもの

- プラスチック成形品（射出成形作業）

1人3個必要です。

実技試験実施要領を参考にA～Iまでマーキングをしてください。

- 実技試験問題、筆記用具
- 作業服及び作業に適した靴を持参してください。

#### (2) 試験場に準備されているもの

- 器具工具等は協会では準備します。

※ 使い慣れた工具を持参いただいても結構です。

但し、**機械検査作業はアナログ工具を使用します。固定具は使用できません。**

### 5 その他

- ・ 人数により複数回で実施する場合があります。
- ・ 人数により2団体以上合同で実施する場合があります。

### 3 支給材料等の斡旋先

#### 平成29年度 随時3級及び基礎1・2級 中央斡旋材料等一覧

職種名等	斡旋材料	斡旋先	備考
鋳造 (鋳鉄鋳物鋳造作業) (非鉄金属鋳物鋳造作業)	随時3級 樹脂型	一般社団法人日本鋳造協会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館501号室 TEL 03-3432-2991 FAX 03-3433-7498 担当: <sup>はやかわ</sup> 早川 氏	※試験実施日より1か月前までに 申し込んでください。 ※別途申込書により注文してくだ さい。 1個 41,000円(消費税込み、送 料別)
めっき (電気めっき作業)	随時3級 鋼板	東京都鍍金工業組合 〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目11 番10号 TEL:03-3814-5621 FAX:03-3816-6166 担当:宮部 氏	※試験実施日より2~1か月前ま でに申し込んでください。 ※別途申込書により注文してくだ さい。
アルミニウム陽極酸化処 理 (陽極酸化処理作業)		軽金属製品協会 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目13番 13号 アープセンタービル TEL:03-3583-7971(代表) FAX:03-3589-4574	試験場の相談
電子機器組立て (電子機器組立て作 業)	随時3級、 基礎1・2級 支給材料	(株)三機 メカトロ部 〒456-0035 愛知県名古屋市中熱田区白鳥1 丁目4番1号 TEL:052-681-2163 FAX:052-681-2140 <a href="http://www.e-monozo.com/">http://www.e-monozo.com/</a>	基礎2級の申し込み形態は下記 の2種類 A 支給材料一式(1セット5名分) B 支給材料のうちプリント配線板 のみ(5枚単位) ※試験実施日より3週間前までに 申し込んでください。 ※電子部品については製造中止 になった場合等、相当品に変更 することがあります。
婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製 作業)	基礎2級 ミシン基礎技 能訓練シート	日本アパレルソーイング工業組 合連合会 〒130-0012 東京都墨田区太平1丁目19 番3号 TEL:03-3624-4891 FAX:03-3624-4892 担当:事務局長 小澤一夫 氏	検定用シートの発送につきましては は、ゴールデンウィーク、年末年始 を除き、お申し込み後一週間から1 0日程度必要です。 検定用シートの申込については、 別途ご注文書(P32)をご利用くだ さい。
紳士服製造 (紳士既製服製造作業)			
布はく縫製 (ワイシャツ製造作業)			

職種名等	斡旋材料	斡旋先	備考
紙器・段ボール箱製造 (印刷箱打抜き作業) (印刷箱製箱作業) (貼箱製造作業) (段ボール箱製造作業)	随時 3 級、 基礎 1・2 級 支給材料	全日本紙器段ボール箱工業組 合連合会  〒104-0041 東京都中央区新富 1 丁目 15 番 12 号 第三下村ビル 3 階  TEL:03-3552-6531 FAX:03-3552-6532  担当:紫藤氏	※試験実施日より 1 か月前までに 申し込んでください。
プラスチック成形 (圧縮成形作業) (射出成形作業) (ブロー成形作業)	基礎 2 級 測定用成形 品	以下の 2 か所で購入できます。  <b>①圧縮・射出・ブロー材料</b> 全日本プラスチック製品工業連 合会 〒104-0045 東京都中央区築地 3 丁目 12 番 5 号 TEL:03-3541-4321 FAX:03-3541-4324  <b>②射出・ブロー材料</b> 愛知県プラスチック成形工業組 合 〒456-0058 名古屋市熱田区六番 3-4-41 TEL:052-654-8155 FAX:052-654-8140	<b>左記の①の場合</b> ○圧縮 1 個当たり 1080 円(消費税込 み) ※試験実施日より 1 か月前までに 申し込んでください。 ※別途ご注文書(P34)により注文 してください。 ○射出・ブローとも 1 個当たり 270 円(消費税込み) ※試験実施日より 1 か月前までに 申し込んでください。 ※別途ご注文書(P34)により注文 してください。 <b>左記の②の場合</b> ○射出・ブローとも 1 個当たり 270 円(消費税込み) ※試験実施日より 1 か月前まで に申し込んでください。 ※別紙「ご注文書」(P35)を使用 し、FAXにてご注文ください。
パン製造 (パン製造作業)	随時 3 級、 基礎 1 級  食型	川口板金株式会社  〒334-0076 埼玉県川口市本蓮 4 丁目 2 番 32 号  TEL:048-282-0871 FAX:048-283-2660 担当:金本氏 <sup>かなもと</sup>	※試験実施日より 1 か月半前まで に申し込んでください。 ※別途ご注文書により注文してく ださい。
防水施工 (シーリング防水工事作 業)	随時 3 級、 基礎 1・2 級  支給材料 試験架台	日本シーリング工事業協同組 合連合会  〒135-0034 江東区永代 2 丁目 33 番 6 号 有沢ビル 2F  TEL:03-3643-7901  担当:白川氏	※試験実施日より 1.5 か月前まで に申し込んでください。

## ご 注 文 書

シートの内容	ご注文数	配達指定
①基礎 2 級婦人子供服製造用 検定シート (1 袋、各 10 枚入り)	袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・至急便</li> <li>(                    日迄)</li> <li>・普通便</li> </ul>
②基礎 2 級紳士服製造用 検定シート (1 袋、各 10 枚入り)	袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・至急便</li> <li>(                    日迄)</li> <li>・普通便</li> </ul>
③基礎 2 級布はく縫製用 検定シート (1 袋、各 10 枚入り)	袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・至急便</li> <li>(                    日迄)</li> <li>・普通便</li> </ul>
④ 5 種類入り訓練シート (1 袋、各 10 枚入り)	袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・至急便</li> <li>(                    日迄)</li> <li>・普通便</li> </ul>

平成      年      月      日

◎発注者

企業・団体名

住 所      〒

電話番号

ファックス番号

担当者

※代引きでお願いしております関係上、送付先が上記、発注者と異なるときは下記にご記入ください。

送付先の企業・団体名

// 住 所      〒

// 電話番号・ファックス番号

// 担当者

◎ご請求書の請求先

## 基礎2級 プラスチック成形職種（圧縮成形・射出成形・ブロー成形作業）に係る支給材料の斡旋について

材料の注文に当たっては下記にご注意ください。

### 1. 発注期日について

実施要領記載のとおり、材料は試験実施の1ヵ月前までにお申し込みください。試験までの日数が1ヵ月未満の場合、又は代金入金が試験実施日に近い場合、対応できない場合がありますのでご注意ください。

### 2. 発注方法について

ご注文にあたっては、必ず次ページの様式をご使用の上FAXにてご注文ください。電話のみでの注文は受け付けておりませんのでご注意ください。

また、圧縮作業、射出作業、ブロー作業では材料の種類が異なります。注文の際は、お間違えのないようご注意ください。

### 3. 材料の発送について

材料の発送は、代金のお入金確認後の翌週となります。注文後に発行される請求書により、速やかにお支払いいただきますようお願いいたします。

なお、1週間経っても請求書が届かない場合は、お手数ですが、ご注文書に「再FAX」と記載の上、再度ご注文ください。

### 4. 材料の値段について

材料の値段は、圧縮材料は1個1,080円、射出材料は1個270円、ブロー材料は1個270円（消費税込み）、送料は着払いとなります。

### 5. その他

材料の注文以外の内容については、愛知県職業能力開発協会（電話 052-524-2039）までお問い合わせください。

コピーしてご利用ください

平成 年 月 日

FAX 03-3541-4324

TEL 03-3541-4321

## 全日本プラスチック製品工業連合会 御中

### 注 文 書

■ご注文にあたっては、下記にご注意ください。

- ① ご注文は、試験日の1ヶ月前までに、必ず本用紙をご使用の上お申し込みください。
- ② 材料は、代金の入金確認後の発送となります。

受検申請先協会(都道府県名をご記入のうえ、都/道/府/県いずれかに○をつけてください)	
都 / 道 / 府 / 県 職業能力開発協会	
材料の種類 (該当する作業名に○を付けてください)	個数 (受検者1人当たり3個必要)
圧縮(フェノール樹脂)・射出(ABS樹脂)・ブロー	個

#### 【請求書送付先】

協会名又は会社名			
担当者	(役職)	(氏名)	
所在地	〒 _____		
電話		FAX	

#### 【材料送付先】 ※上記と異なる場合のみ記入ください。

協会名又は会社名			
担当者	(役職)	(氏名)	
所在地	〒 _____		
電話		FAX	

コピーしてご利用ください

平成 年 月 日

FAX 052(654)8140

TEL 052(654)8155

## 愛知県プラスチック成形工業組合 御中

### 注 文 書

該当する材料に○ を付けてください	材料の種類	個 数 ※受検者1人当たり3個必要
	射出成形材料	個
	ブロー成形材料	個

#### ※ ご注意

- ① ご注文は愛知県プラスチック成形工業組合にお電話にて在庫確認をした上、試験日の一ヶ月前までに、必ず本用紙をご使用の上お申し込みください。
- ② 材料は代金の入金確認後の発送となります。
- ③ 材料の値段は、両作業とも1個270円(消費税込み)です。

#### 【請求書送付先】

団体名又は会社名	
担当者	(役職) (氏名)
所在地	〒
電話・FAX	電話 FAX

#### 【材料送付先】

団体名又は会社名	
担当者	(役職) (氏名)
所在地	〒
電話・FAX	電話 FAX

## 随時3級技能検定の受検について(一部分)

### 実技試験について

随時3級の射出成形及び機械検査作業については、他の作業と同様に、監理団体(事業所)で会場確保及び検定委員推薦の対応をしていただきますのでご留意ください。また、**試験関係の設備等についても一般技能検定の3級に準ずることになりますので対応が必要となります。**

### 技能検定委員の選任基準について

**基礎2級の適任基準よりも厳しくなっていますのでご注意ください。**

また、これ以外の事項や秘密保持等については、基礎2級と同様となります。

基準要件
次のいずれかに該当する者
a 当該検定職種(作業)の特級、1級の技能検定に合格した者であって、当該検定職種(作業)に関して <b>5年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する者(技能系)</b>
b 次のいずれかに該当する者であって、当該検定職種(作業)の特級、1級に合格した者と同等以上の技能又は技術を有する者
(a) 事業所等において、当該検定職種(作業)に関する管理部門、技術部門若しくは教育訓練部門の課長級以上の地位にある者又はこれらの地位にあった者 (技術系)
(b) 短期大学(高等専門学校及び旧専門学校を含む。)以上の学校、応用課程若しくは専門課程の高度職業訓練(旧養成訓練を含む。)、特定応用課程若しくは、特定専門課程の高度職業訓練、長期課程又は短期養成課程若しくは長期養成課程の指導員訓練において、当該検定職種(作業)に関する学科を修めて卒業又は修了し、その後当該検定職種(作業)に関し5年以上の学識経験を有する者(学識経験には、学校、職業能力開発校(旧職業訓練校を含む。)、職業能力開発大学校等において教育・訓練を行った経験を含む。)(学識系)
c 当該検定職種(作業)の <b>2級の技能検定に合格した者</b> であって、当該検定職種(作業)に関し <b>10年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する者(技能系)</b>
d 上記aからcまでに掲げる者と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する者

### 随時3級の申請等について

技能実習計画等を外国人技能実習機構に提出することとなり、基礎2級と同様の流れ(提出先がJITCOから外国人技能実習機構に変更される)になります。

なお、受検申請書及び実技試験実施計画書については、基礎2級の様式に準じたものを予定しています。

基礎2級の記入例(P10,11)を参考にし、漏れのないように記入してください。



# ☆愛知県職業能力開発協会

至天神山 至浄心 N  
 地下鉄  
 ←は一方通行です  
 浅間町(浅間町)  
 4番出口  
 コンビニ  
 どの店とも隣  
 押切町バス停  
 至名古屋  
 (押切町) 国道22号  
 愛知県職業能力開発協会  
 (職業訓練会館2階)  
 至柳橋 至伏見

●地下鉄  
 鶴舞線「浅間町」下車  
 4番出口から徒歩5分

●市バス  
 名古屋駅バスターミナル  
 7番のりば  
 黒川ゆき  
 茶屋ヶ坂ゆき  
 浄心町ゆき  
 西部医療センターゆき  
 (4区目)押切町下車  
 徒歩5分

◎申請書提出先及び問合せ先  
**愛知県職業能力開発協会  
 技能検定課**

〒451-0035 名古屋市西区浅間二丁目3番14号  
 愛知県職業訓練会館内  
 電話 052-524-2034 (直通)  
 F A X 052-325-5788

ものづくり愛知から世界へ羽ばたく人材を育てる